



# 地域こども支援ネットワーク事業の取組み状況

## ～社会全体でこどもを支える仕組みづくり～

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

# 地域こども支援ネットワーク事業について

## ◇ 本事業のねらい

- 1 こどもの居場所活動団体(こども食堂、学習支援等)同士の連携、情報交換・課題の共有を図り、団体の活動をサポートする。
- 2 企業・団体等からの物資提供などを受入れ・調整を行い、支援者と活動団体をつなぐ。

## ◇ 主な取組み

### 1 活動団体の連携や活動サポート

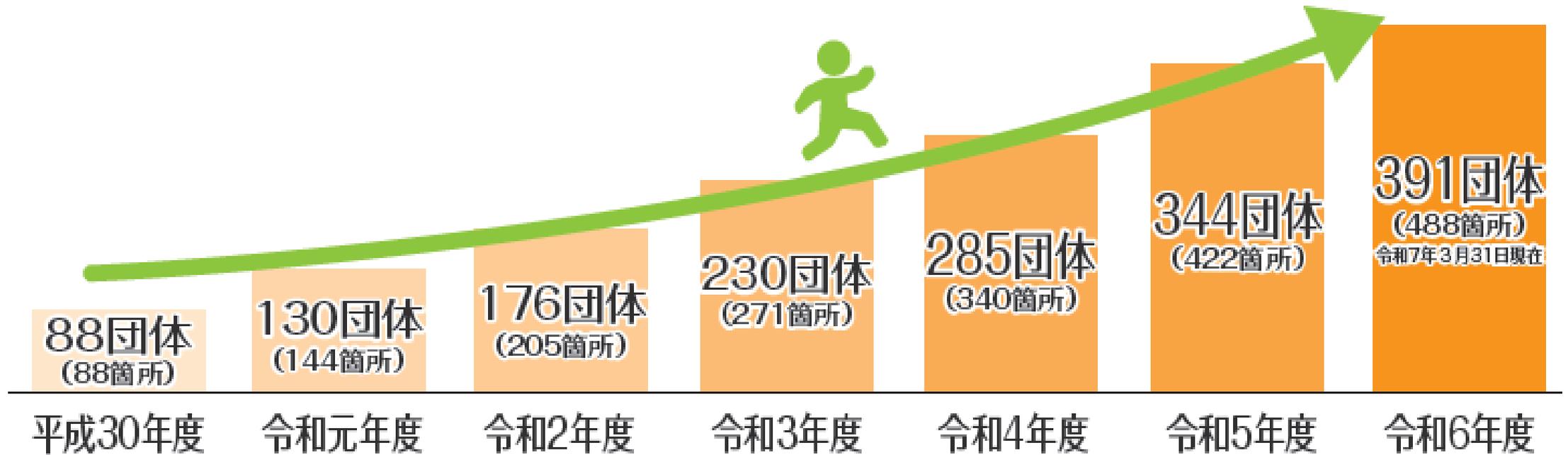
- ・地域こども支援ネットワーク事業運営協議会の開催
- ・地域こども支援団体連絡会の開催
- ・こどもの居場所づくりサポート講座の実施
- ・啓発イベント・シンポジウム等の開催
- ・活動団体の不測の事故等に対する保険の加入促進

### 2 支援者からの支援受入れ促進

- ・活動団体への提供物資などの調整
- ・啓発活動、情報発信
- ・活動者と応援者のネットワークづくり
- ・こども支援に関わる企業等との連絡調整

# 本事業への登録状況

## ◇登録団体数



**令和7年度7月末時点 423団体(530箇所)**

※団体数に比して箇所数が多いのは、1つの団体で複数箇所実施している場合もあるため

# 本事業への登録状況

## ◇各区における登録箇所数(令和7年度7月末時点)

北区	16	天王寺区	33	城東区	21
都島区	14	浪速区	12	鶴見区	24
福島区	18	西淀川区	23	阿倍野区	17
此花区	16	淀川区	34	住之江区	11
中央区	25	東淀川区	20	住吉区	22
西区	14	東成区	13	東住吉区	31
港区	26	生野区	37	平野区	39
大正区	10	旭区	20	西成区	34

# 令和6年度の取組み実績

# 1 活動団体の連携や活動サポート

## ア 地域こども支援ネットワーク事業 運営協議会の開催

こどもを取り巻く環境に対応した、必要な支援を事業運営に反映するため、大阪市社協だけでなく、こどもに関わる多様な団体等からの参画を得て、年2回協議を行った。



開催日	内容
令和6年11月14日(木)	<ul style="list-style-type: none"><li>・代表及び副代表の選出について</li><li>・事業の進捗状況について</li><li>・その他</li></ul>
令和7年 2月28日(金)	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業の進捗報告及び登録団体状況について</li><li>・シンポジウムの実施報告について</li><li>・令和7年度事業計画(案)について</li><li>・その他</li></ul>

# 1 活動団体の連携や活動サポート

## イ 地域こども支援団体連絡会の開催

こども支援団体やそれを支援する企業・団体、区社会福祉協議会などが集まり、こども支援活動に関する勉強会や情報交換などを実施。各回の内容は、多様な団体が参画している企画委員会により検討。

回数	開催日	テーマ	参加人数
第1回	令和6年4月19日(金)	ボランティア活動者と継続して関わるための仕組みについて ～有償ボランティア活動について知る～	38人
第2回	令和6年6月21日(金)	『情報交換会』 (1)活動の財源について (2)ボランティアの集め方について (3)活動の周知・SNSの活用について	55人
第3回	令和6年8月16日(金)	『情報交換会』 (1)活動内容について (2)SNSの活用(周知)について (3)物資の調達方法について	33人
第4回	令和6年10月25日(金)	こどもたちを性トラブルから守る ～身近に相談できる大人になるために～	23人
第5回	令和6年12月20日(金)	SNSを活用した広報・周知のテクニックや注意点について ～活動内容を効果的に発信するためには？～	17人
第6回	令和7年2月21日(金)	『情報交換会』 (1)活動の中で困ったこと、課題に感じていること (2)活動の中で嬉しかったこと、やりがいを感じていること (3)これからの活動に向けて	15人

# 1 活動団体の連携や活動サポート

## ウ こどもの居場所サポート講座の開催

地域において、こどもの居場所活動を行っている団体や、これから活動をはじめようと考えている人を対象に、活動をより効果的、発展的なものとし、運営を継続的にサポートすることを目的に開催。

回数	開催日	テーマ	参加人数
第1回	令和6年7月17日(水)	衛生講習会～こどもの居場所における衛生管理～	16人
第2回	令和6年7月25日(木)	衛生講習会～こどもの居場所における衛生管理～	25人
第3回	令和7年1月14日(火)	ファンドレイジングを学ぶ「基礎編」	26人
第4回	令和7年1月28日(火)	ファンドレイジングを学ぶ「実践編」	25人



# 1 活動団体の連携や活動サポート

## エ 各区におけるこどもの居場所活動担当者 情報交換会の開催

開催日:令和6年12月6日(金)

対象者	内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・各区社会福祉協議会 こどもの居場所活動担当者 (23区社協 出席)</li><li>・各区役所 こどもの居場所活動または 教育関係担当者 (18区役所 出席)</li></ul>	<p>各区において年々増加しているこどもの居場所活動を、行政や教育機関と連携して行うことができるよう、各区の担当者が改めて顔を合わせて、こどもの居場所活動に関する現状等について共通認識を持つきっかけとする。</p> <p>また、区のネットワークを活用して、区内のこどもの居場所活動を効果的に支援できた事例や、こども支援に協力的な企業・団体等と連携した取組み事例など、他区の取組みを知り、各区にネットワークがあることの効果や有用性について学ぶとともに、こども支援に関わる団体等との連携に係る知見を広げ、各区におけるこどもの居場所活動団体への支援を発展させることを目的に開催。</p>

# 1 活動団体の連携や活動サポート

## オ シンポジウムの開催

「体験の格差が与える こどもたちへの影響について考える」をテーマに、こどもたちの成長にとって重要な「体験」、「経験」に格差が生じている現状を知り、こどもの居場所活動における、こどもたちの体験支援の取り組み事例を共有し、こどもたちが社会を生き抜く力、豊かな人間性を育むため、私たちに何ができるのかについて考えるきっかけとした。

開催日:令和7年2月8日(土)

参加人数:100人

	内容
基調講演	徳田 真彦 氏(大阪体育大学 スポーツ科学部)
パネルディスカッション	コーディネーター 石田 易司 氏(桃山学院大学 名誉教授、大阪府キャンプ協会 副会長)
	パネリスト 西峯 圭子 氏(こども班会「コペルくん」)
	藤本 真帆 氏(公益財団法人 住吉隣保事業推進協会)
	目崎 敦也 氏(NPO法人 Unity)
	アドバイザー 徳田 真彦 氏(大阪体育大学 スポーツ科学部)



## 2 支援者からの支援受入れ促進

### ア 活動団体への提供物資等の受入れ・調整

令和6年4月から令和7年3月末までの1年間で、延べ125の企業や団体、個人から食料品や衛生用品、文房具などの寄贈があり、延べ3,092団体に提供。



## 2 支援者からの支援受入れ促進

### イ 啓発活動・情報発信

#### <啓発物品の作成・配布>

本事業をこどもたちや保護者等に広く周知することで、各地域におけるこども食堂や学習支援などの居場所づくり活動を推進することを目的に作成及び配布。

- ・令和5年度事業報告書 2,000部
- ・事業パンフレット 2,000部
- ・事業協力金振込依頼用紙 2,000部
- ・事業啓発用紙袋 1,000枚
- ・シンポジウムチラシ 4,000部



#### <HPによる情報発信>

こどもの居場所活動に関する研修会や啓発イベント、連絡会の報告、助成金情報等に加え、実際の活動の取材記事を掲載し、こどもの居場所活動への理解・関心を深めた。また、物資提供を管理するシステムにおいて、登録団体が物資を申し込む際の手続きの簡略化及び利便性の向上を図った。



## 2 支援者からの支援受入れ促進

### ウ 職業体験型イベントの実施

① 令和6年9月7日(土) 参加人数:こども14人 保護者12人

共催企業	内容
ドクターリセラ株式会社	添加物等の身近な化学物質による体への影響等を学んだうえで、企業が取り扱う無添加食品・天然はちみつなどの食育を通じた学びや体験の機会を提供。



## 2 支援者からの支援受入れ促進

### ウ 職業体験型イベントの実施

② 令和6年11月30日(土) 参加人数:こども20人・保護者14人

共催企業	内容
有限会社 阪急泉南グリーンファーム	実際の農場において、農作物についてクイズ形式等で楽しく学ぶとともに、実際に畑での収穫や、収穫した作物の実食などを体験する機会を提供。

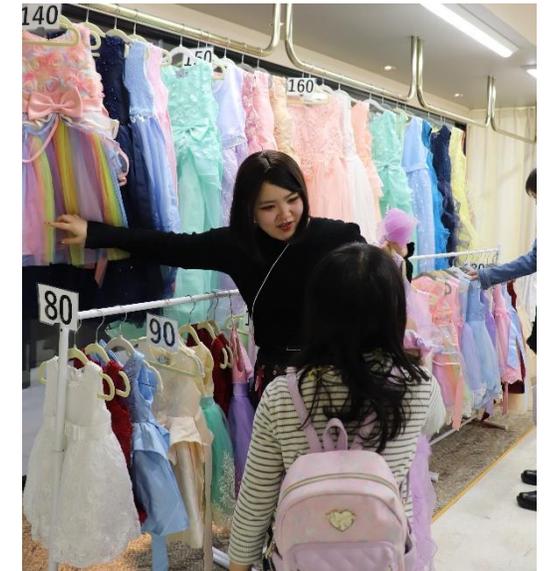


## 2 支援者からの支援受入れ促進

### ウ 職業体験型イベントの実施

③ 令和7年1月25日(土) 参加人数:こども24人 保護者13人

共催団体	内容
学校法人コミュニケーションアート 大阪ホテル・観光& ウェディング専門学校	学校内の疑似施設(チャペル)において、ブライダル科の学生が企画・実施する模擬挙式への参加や、挙式に関する体験ブース(ヘアアレンジメント・バーテンダー等)を設置し、こどもたちが挙式に関するさまざまな職業を体験できる機会を提供。



## 2 支援者からの支援受入れ促進

### エ こどもの居場所活動への参加調整

#### <大学生の実習受入れ>

令和6年度は、大阪公立大学や武庫川女子大学、桃山学院大学等から15名の実習生を受入れ、こどもの居場所活動での地域住民やこどもとの交流体験を通じて、活動の実情や課題を学ぶ機会を設けた。

#### <企業・団体・個人等からのこども支援に関する相談対応>

こどもの居場所活動に関心がある企業・団体・個人等からの相談に対応し、こどもの居場所活動への見学やボランティアとしての参加、こども支援の取組みの実施等に係る調整を行った。

<参考> 令和6年度 こどもの居場所活動に関する相談件数：193件

# 令和7年度の取組みについて

# 1 活動団体の連携や活動サポート

## ア 地域こども支援団体連絡会の開催

### <開催済み>

回数	開催日	テーマ
第1回	令和7年4月18日(金)	『情報交換会』 テーマ「これからの活動について、改めて考えてみよう！」 (1)活動の中で大切にしていること (2)昨年度の活動の中で困ったこと・悩んだこと (3)昨年度の活動を振り返り、今年度頑張りたいこと・取り組んでみたいこと
第2回	令和7年6月20日(金)	『情報交換会』 テーマ「SNSのお悩み相談会！～活動時の使い方どうしてる？～」
第3回	令和7年8月22日(金)	『情報交換会』 テーマ「みんなどうやって活動を続けているの？」 (1)運営資金の調達方法について (2)物資の調達方法について (3)その他(参加申込み時に上記内容以外で情報交換したいテーマを集約)

### <開催予定>

第4回:令和7年10月24日(金) 第5回:令和7年12月19日(金) 第6回:令和8年2月20日(金)

※各回の開催内容は現在調整中

# 1 活動団体の連携や活動サポート

## イ こどもの居場所サポート講座の実施

<開催済み>

テーマ	開催日	内容
衛生講習会(夏季 第1回)	令和7年7月24日(木)	こどもの居場所活動における衛生管理
衛生講習会(夏季 第2回)	令和7年7月30日(水)	こどもの居場所活動における衛生管理

<開催予定>

テーマ	開催日	内容
衛生講習会(冬季 第1回)	令和7年11月21日(金)	こどもの居場所活動における衛生管理
衛生講習会(冬季 第2回)	令和7年11月27日(木)	こどもの居場所活動における衛生管理
ファンドレイジング研修(基礎編)	令和8年1月頃	こどもの居場所活動を運営していくためのヒト・モノ・カネの集め方
ファンドレイジング研修(実践編)	令和8年1月頃	こどもの居場所活動を運営していくためのヒト・モノ・カネの集め方

# 1 活動団体の連携や活動サポート

## ウ 地域こども支援ネットワーク事業運営協議会

<開催予定>

こどもを取り巻く環境が変化する中、必要な支援を事業運営に反映するため、市社協だけではなく、こどもに関わる多様な団体等から参画を得て、年2回開催し、協議を行う。

回数	開催予定月
第1回	令和7年10月
第2回	令和8年 2月

## エ 各区におけるこどもの居場所活動担当者 情報交換会の開催

<開催予定>

区内の担当者が顔を合わせ、こどもの居場所活動に関する課題等について共通認識を持ち、区内のネットワークの強化につなげるとともに、他区の実践事例を知ることで、こども支援に関わる企業・団体等との連携促進や、区同士の横のつながり構築に資する。

開催予定月
令和7年11月

# 1 活動団体の連携や活動サポート

## オ こどもの居場所活動推進に向けたシンポジウムの開催

<開催予定>

こどもの課題について、「個人の問題」ではなく、「地域課題(社会的かかわりが必要な問題)」として捉え、こどもに関わる一人ひとりが「我が事」として考えることで、こどもたちが安心して集うことができる居場所づくりの推進を目的に開催。

開催予定月
令和8年 1月

## 2 支援者からの支援受け入れ促進

### ア 活動団体への提供物資等の受入れ・調整

延べ40の企業や団体等から寄附があり、延べ346団体に提供。(令和7年7月末時点)

### イ 企業・団体等からの支援の促進

企業や団体等から物資の提供があった際には、随時、当事業HPへ掲載することで、継続的な支援へとつなげるとともに、その他で支援を検討している企業・団体等からの新たな支援を促進するきっかけとしている。



### ウ 企業・団体等との連携・協働による取組みの推進

上記イをはじめとした、当事業HPを必要に応じて随時更新していることで、多くの企業から、こどもの居場所への支援に関する問合せが増加。

令和7年4月～7月末時点で、26の企業・団体から問合せあり。(令和6年度実績:89件)

(例)

- ・某百貨店:300周年を記念して、こどもの居場所を交えたこども招待イベントを実施したい。
- ・某保険会社:こどもの居場所への支援に関心のある関係企業に対して、地域こども支援ネットワーク事業への協力依頼を募り、さまざまな形での支援へとつなげたい。

## 2 支援者からの支援受け入れ促進

### エ 職業体験イベント等の実施

#### <開催予定>

多くの企業がさまざまな形での支援を実施しているなか、企業からこどもたちに対して職業体験の場を提供することで、こどもたちがより多くの経験や社会・大人と関わる力を将来の自立に向けて育むとともに、企業がこどもたちの笑顔を直接見ることができる機会を設け、企業によるこどもへの支援をより推進することを目的に開催。

開催予定月
令和7年9月～ 令和8年3月

### オ こどもの居場所活動への学生の参加調整

#### <大学生の実習受入れ実施中>

令和7年度は7月末時点で、同志社大学や立命館大学、武庫川女子大学等から、合計で8名（受入れ時期は異なる）の実習生を受入れ予定となっている。

実習では、実際にこどもの居場所活動へ参加する場を設け、運営者や地域の人、こどもたちとの交流を通じて、こどもの居場所活動の実情や課題を学ぶ機会とする。

また、それ以外でも、大学等からの依頼に応じて、実習生等を受入れ、こどもの居場所活動への参加調整を進めていく。

# 各区におけるこどもの居場所活動への支援について

# 各区におけるこどもの居場所活動への支援について

## ◆ 各区のネットワークを活用した取組み

<定期的な連絡会や情報交換会の開催>

- ・区内のこどもの居場所活動について状況把握、活動団体へのアンケート調査等の実施
- ・こどもの居場所活動団体からの実践報告
- ・こどもの居場所活動団体同士による課題や解決策の共有、横のつながりの強化 など

<ネットワークに参画している団体の協働によるイベント等の企画・実施、情報発信>

- ・こども食堂まつり、映画上映会、フードパントリー、企業との共催によるこども招待イベント、区・地域イベントへこどもの居場所周知ブースを出展
- ・活動団体及び活動内容の情報を集約し、マップやパンフレット、HP等への掲載及び情報発信 など



11月に実施予定の「各区におけるこどもの居場所活動担当者 情報交換会」においても、取組み事例を共有し、各区の支援の発展につなげる。

## ◆ 各区におけるこどもの居場所活動の認知度向上の取組み

○対象となるこどもや家庭に少しでも多く、こどもの居場所活動の情報が届くよう、区内のこどもの居場所活動の日時、場所等の情報が記されたリストやマップ等を作成して周知。  
<現在、19区で作成済み>

○上記のリストやマップ等を活用し、こども支援に関わっている機関・団体、支援者、例えば、学校や区役所、民生委員・児童委員、各区福祉コーディネーター等に情報提供し、その方々の協力を得て、実際に支援されているこどもや家庭にその情報を伝えてもらう取組みを進める。

### <実施事例>

- ・区社協、区役所の広報誌やホームページ等への掲載
- ・毎年、新小学1年生、新中学1年生に配付
- ・区内の小中学校の全校生徒へ一斉配付(高校へ配付している区も)
- ・支援者向けの研修開催時に説明資料として配付
- ・子育て支援施設(保育所・幼稚園含む)等の関係機関へ配付 など